

第1期 (平成27年1月～12月)

まつもと子ども未来委員会 活動報告集



まつもと子ども未来委員会のマーク

【子どもたちがマークに込めた思い】

- ① 松本を大切にしたい(手の中に松本市)
- ② 笑顔でいっぱいになりたい
- ③ 松本の自然(山・太陽)を描きました

松本市

目 次

I 「まつもと子ども未来委員会」実施要項	1
II 「まつもと子ども未来委員会」委員	2
III 「まつもと子ども未来委員会」開催状況	3
IV 「まつもと子ども未来委員会」活動内容	4
1 話し合いのテーマ	4
2 テーマごとの話し合い	5
(1) まちを良くすることについて	5
(2) 自然のことについて	6
(3) まちのPRについて	7
3 市内見学等	8
4 未来委員会のマーク	8
5 発表に向けての準備	8
6 松本子どもの権利の日市民フォーラム	9
V 他都市との子ども交流事業	11
1 宗像市・福津市との子ども交流事業	11
2 地方自治と子ども施策全国自治体シンポジウム	13
VI その他参加者の興味・関心のある事業	15
1 学都松本フォーラム	15
2 チャオ！バンビーニ	18
VII 平成27年まつもと子ども未来委員会 アンケート結果	20
1 未来委員用	21
2 保護者用	23
VIII 資料	
1 まつもと子ども未来委員会ニュース 平成27年 9月号	27
2 まつもと子ども未来委員会ニュース 平成27年12月号	36
3 子ども交流事業ニュース 平成27年8月4日号	41
4 子ども交流事業ニュース 平成27年8月5日号	43
5 子ども交流事業ニュース 平成27年8月6日号	45
6 宗像市・福津市との子ども交流事業参加者感想	47
7 松本子どもの権利の日市民フォーラム 未来委員会の報告資料	61
8 松本子どもの権利の日市民フォーラム 子ども交流事業の報告資料	68

I 「まつもと子ども未来委員会」実施要項

1 趣 旨

子どもにやさしいまちづくりを一層進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため、まつもと子ども未来委員会を設置するものです。

2 内 容

子どもたちが、学校、地域、年代を超えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をととして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考えます。

3 対 象

松本市内在住、あるいは市内の学校に通ったり活動をしている10歳（小学4年生）から17歳（高校2年生相当）まで ※おおむね30人程度を予定

4 活動期間

平成27年1月～12月 （応募期間：平成26年12月1日～翌年1月15日）

5 主な事業

(1) 子ども未来委員会の開催と活動発表

ア 内 容

まちづくりや身近な話題など、子どもたち自身がテーマを決め、2カ月に1回程度開催する委員会で、テーマについての学習と話し合いを行います。

活動内容については、市に報告・提言することとし、市長をはじめ市の関係者や市民に発表する機会を設けます。

イ 学習会講師

こども部をはじめ市関係部局や子どもの権利相談室「こころの鈴」擁護委員等に講師を依頼します。

(2) 他都市との子ども交流事業に参加

(3) その他参加者の興味・関心のある事業を実施

6 主 催

松本市 （主管課：こども部こども育成課）

7 参加者募集方法

(1) 12月1日号広報まつもとで公募

(2) 市内小中高校へ募集チラシ配布

(3) 関係団体・施設（子ども会育成会、児童館等）へ呼びかけ

8 その他

(1) 第1回委員会は、1月24日（土）に開催します。

(2) 大学生等によるサポーターの参加を検討します。

Ⅱ 「まつもと子ども未来委員会」委員

38名

学 校		男 子		女 子	
小学生	5 年生 13 名	大野川小、才教学園、清水小 筑北小、附属小、山辺小	6 名	源池小、寿小、四賀小 附属小、芳川小	7 名
	6 年生 10 名	旭町小、梓川小、附属小	3 名	岡田小、芝沢小、島立小 附属小、本城小、明善小	7 名
中学生	1 年生 5 名	信明中、筑摩野中	2 名	開成中、附属中、丸の内中	3 名
	2 年生 1 名	筑摩野中	1 名	—	—
	3 年生 1 名	—	—	山辺中	1 名
高校生	1 年生 2 名	予備校	1 名	秀峰	1 名
	2 年生 2 名	美須々ヶ丘高校	1 名	美須々ヶ丘高校	1 名
	3 年生 4 名	松本工業高校 美須々ヶ丘高校	2 名	美須々ヶ丘高校	2 名

学 校	氏 名											
小学生	あおしま 青島	みつぎ 海月	いぬま 飯沼	けいた 恵大	うえの 上野	ゆうか 佑佳	はら 原	あ い な 愛唯奈	おざわ 小澤	しゅうへい 周平	きはら 木原	な お み 菜穂美
	こまはし 駒橋	な な み 七美	さとう 佐藤	ふうか 風花	しげた 重田	あつ き 篤希	すずき 鈴木	ゆず は 柚葉	なかむら 中村	る な 瑠菜	にしむら 西村	げんとく 源徳
	みうら 三浦	かいすけ 快介	あかはね 赤羽	み く 美空	くらかみ 倉上	たくや 卓也	てづか 手塚	みず き 瑞季	ないとう 内藤	たか ね 壮嶺	はやし 林	はる か 春花
	ひらた 平田		ふじい 藤井	にこり 柔玲	へんみ 逸見	げんき 元紀	ほら 洞	からん 歌蘭	やまざき 山崎	ひなた		
	メイ											
中学生	うみかわ 海川	ともひろ 智祐	ち の 千野	ももな 桃奈	なかむら 中村	れい 黎	にしかわ 西川	ゆう き 裕希	みやはら 宮原	ふ み こ 史子	くすのき 楠	ひろと 裕人
	ももせ 百瀬	えりな 恵梨奈										
高校生	なかの 中野	り な 莉花	ももせ 百瀬	ともかぜ 友風	こまつ 小松	た ける 丈瑠	とやま 遠山	みやび 雅	おしざわ 押澤	ゆう き 有季	かり と 狩戸	ゆう し 優志
	こまつ 小松	としき 星樹	はやた 早田	み ほ 美穂								

Ⅲ 「まつもと子ども未来委員会」開催状況

回	日 時	場 所	内 容
1	平成 27 年 1 月 24 日 (土) 14:30～16:30	あがたの森文化会館	① 他己紹介 ② 委員会の活動について ③ 子どもの権利について ④ 今後の日程について
2	3 月 14 日 (土) 14:30～16:30	あがた児童センター	① 委員長、副委員長選出 ② 子どもの居場所について ③ 話し合いのテーマについて
3	5 月 30 日 (土) 14:00～16:30	まつもと市民芸術館	① 話し合いのテーマについて ② 市内見学の場所について ③ 未来委員会のマークについて
4	6 月 21 日 (日) 14:00～16:30	松本市文書館	① 「まちを良くすることについて」 ② 市内見学の場所について ③ 未来委員会のマークについて ④ 学都フォーラムについて
5	7 月 26 日 (日) 14:00～16:30	窪田空穂記念館	① 「自然のことについて」 ② 市内見学の場所について ③ 学都フォーラムについて ④ チャオ！バンビーニについて
市内見学	8 月 9 日 (日) 8:45～17:00	博物館見学会	旧開智学校、松本市立博物館、はかり資料館、市民芸術館、時計博物館、馬場家住宅
	8 月 10 日 (月) 9:00～17:00	環境保護研修会	環境政策課担当者から説明、美ヶ原高原自然観察、環境業務課担当者から説明
6	8 月 22 日 (土) 14:00～16:30	松本市美術館	① 「まちのPRについて」 ② 学都フォーラムについて ③ チャオ！バンビーニについて
学都松本 フォーラム	9 月 6 日 (日) 13:30～16:00	あがたの森文化会館	学都松本フォーラム
7	9 月 26 日 (土) 14:00～16:30	山と自然博物館	① フォーラムでの発表の準備 ② 未来委員会のマークについて ③ 学都フォーラムの報告
8	10 月 24 日 (土) 14:00～16:30	考古博物館	① フォーラムでの発表の準備 ② 自治体シンポジウムの報告 ③ チャオ！バンビーニについて
9	11 月 8 日 (日) 14:00～16:00	あがたの森文化会館	① フォーラムでの発表の準備 ② チャオ！バンビーニについて
チャオ！ バンビーニ	11 月 23 日 (祝) 10:00～15:00	市民芸術館	チャオ！バンビーニ
市民 フォーラム	11 月 29 日 (日) 13:30～16:00	あがたの森文化会館	松本子どもの権利の日市民フォーラム
10	12 月 12 日 (土) 14:00～16:00	あがたの森文化会館	① 市民フォーラムの感想 ② 1 年間のふりかえり

IV 「まつもと子ども未来委員会」活動内容

1 話し合いのテーマ

どんなことについて話し合いたいかをみんなで考えました。みんなから出た意見をグループに分けて、相談して決めました。

第1回から第3回の委員会で話し合った結果、次の3つのことについて話し合うことに決まりました。

- ① まちを良くすることについて
- ② 自然のことについて
- ③ まちのPRのことについて

委員からは、その他にも、次のような意見が出ました。

1 まちを良くすることについて

- ☆ 未来まで残したい松本の良さや、変えていった方がいいと思うことを話し合いたい
- ☆ 今の松本市を良くするには何が必要か、どうすれば良いのか、などを話し合いたい
- ☆ 松本が子どもや高齢者をはじめ誰でも暮らしやすいまちになるための意見や疑問を言いたいと思う
- ☆ お年寄りから子どもまで笑ってすごせる松本市にするにはどうすればいいか(ゴミ問題・いじめ・介護など)話し合いたい
- ☆ 松本市をより良くすることについて
- ☆ どうしたら松本を良くしていけるか考えたい
- ☆ まちを楽しくするには
- ☆ 住みやすいまちとはどのようなまちか

2 まちをきれいにすることについて

- ☆ どうやったら町がきれいになるか
- ☆ まちをもっときれいにするためにできること
- ☆ 鳥の騒音と糞をなくす工夫
- ☆ 松本に落ちているゴミを減らすためには、など
- ☆ ポイ捨てのことについて

3 自然のことについて

- ☆ 美しい自然がいっぱいなまちなみにするにはどうしたらいいか
- ☆ 自然の保護
- ☆ 花いっぱい運動について

4 安全のことについて

- ☆ 市民の方が安心して安全に暮らすにはどうすればよいか
- ☆ 小中高生の自転車と車の事故を減らすにはどうしたらいいか

5 まちのPRのことについて

- ☆ 観光客を増やすにはどうすればいいか
- ☆ 観光客が増えるには、など
- ☆ いろんな観光客に来てもらうには私たちはどのようなことをすればいいか
- ☆ どうすればもっと観光客が来るか調べたい
- ☆ 観光客が来るまちにするには
- ☆ 観光のお客様に満喫してもらうには
- ☆ 観光客へのPR
- ☆ 松本の特産品を世界に売り出すにはどうすればいいか?
- ☆ 県外の人にもっと松本のことを知ってもらうには
- ☆ 松本のことをもっと他県の人に知ってもらう方法について

6 ボランティアのことについて

- ☆ ボランティアについてどう思っているのか意見交換をしてみたい
- ☆ 募金運動について

7 その他

- ☆ どうすれば子どもが外で遊ぶことができるか
- ☆ 松本市の子どもたちが求めているものについて
- ☆ 自分たちでできる食品ロスを減らす方法とはどんなことか
- ☆ 振り込め詐欺の防止策など
- ☆ 学校教育の中で野球についてもっと理解・活動を広げてもらいたい
- ☆ 昔の人たちの生活について
- ☆ これから考えたい
- ☆ いろいろな人の意見を聞いてみたい
- ☆ いろんな学年の人たちの意見を聞いてみたい

2 テーマごとの話し合い

第4回から第6回の委員会では、テーマごとに話し合いをしました。

3つのグループに分かれて、話し合い、グループごとに発表しました。

委員会の中では、次のような意見が出されました。

(1)「まちを良くすることについて」

【松本のいいところ】

- ・自然がきれい、空気や水がおいしい。
- ・文化財が多い。
- ・公園が多い。
- ・観光地が多い。
- ・他の県と比べて犯罪が少ない。
- ・あいさつする人が多い。
- など

【松本の良くないところ】

- ・ゴミがいろんなところに落ちている。
- ・川が汚れている。
- ・知名度が低い。
- ・自転車のマナーが悪い。
- ・夜、バイクの音がうるさい。
- ・落書きがある。
- ・カラスが多くて被害がある。
- ・自転車道路が凸凹。
- など

【自分たちができること】

- ・未来委員会でゴミ拾いなどをする。
- ・ポイ捨て禁止のポスターをつくる。
- ・自分たちが親戚とか知り合いに松本のPRをする。
- ・木や花を植える。
- ・川の清掃などをする。
- など

【大人や市役所などをお願いしたいこと】

- ・山雅や松本城、上高地などを使ってアピールする。
- 雑誌や、新聞、イベント、特産品、グッズなどを使って県外にアピールする。
- ・川や道路、公園の整備をしてほしい。
- ・地域ごとに川の清掃などを定期的にやる。
- ・落書きやポイ捨てはダメだという教育をもっとしてほしい。
- ・ゴミが捨てられそうなところに注意の看板を出す。
- ・生ごみなどを減らして、カラスや鳥が元いた場所に帰れるようにする。
- ・花や木を植えて、まちをきれいにすれば、ごみを捨てる人も減る。
- ・自転車の免許制や中学・高校でも安全教室をやってほしい。
- ・タバコのポイ捨てを減らす。
- タバコが吸えるところを減らす。
- タバコを吸えるところを囲う。
- タバコが体に悪いということをもっとアピールする。
- タバコの値段を上げる。
- など

(2)「自然のことについて」

【今の松本の自然について】

- ・自然がたくさんある
- ・松の木が枯れている
- ・自然の土地が少ない
- ・都会から見るときれいな自然なので守っていききたい
- ・道路にタバコの吸い殻が落ちている
- ・ゴミがなどあり、自然破壊がある
- ・森林伐採がされている
- ・きれいに見えても川にゴミがある
- ・美ヶ原がきれい

【どうしたらいいか】

- ・木をできるだけ切らないようにする
- ・動物を守っていく
- ・芝を植える
- ・川の清掃をする
- ・日が当たらなくても育つ木を植える
- ・ゴミを捨てない
- ・ゴミのネットやゴミ箱を置く
- ・川の水をきれいにする など

【自分たちができること】

- ・ゴミ拾いなどをする
- ・エコ活動をする
- ・余計なごみを出さない
- ・ポスターなどをつくる
- ・電気をなるべく使わない
- ・ペットボトルなどリサイクルする
- ・川の清掃などをする など

【大人や市役所などをお願いしたいこと】

- ・木を植えて自然を増やすこと
- ・自然を守る活動したら何かもらえるような企画をつくる
- ・子どもたちにも手伝える企画をつくる
- ・ゴミを捨てる人を少なくするための規則をつくる
(大きいゴミをすてる、タバコをすてる、空き缶をすてるなどの大人がいる)
- ・森林を守るキャンペーンをやる
- ・土の地面を多くして欲しい
- ・熊のエサになる植物などを植えてほしい など

(3) 「まちのPRについて」

【松本で人に紹介したいもの】

- ・松本城
- ・美術館
- ・旧開智学校
- ・松本空港
- ・あがたの森
- ・縄手通り
- ・特産品（レタス、セロリ、そば、りんご）
- ・松本山雅
- ・ご当地料理（山賊焼きなど）
- ・松本を舞台にした映画やドラマ
- ・自然（アルプス、乗鞍、美ヶ原、上高地、冬の雪、おいしい水）
- ・マスコットキャラクター（アルプちゃん、なーのちゃん、あるくま） など

【紹介したいものを使って、どんなことができるか】

【松本城】 松本城を世界遺産にしてPRする。

【松本を舞台にした映画】

- ・松本でロケをした映画のパンフレットに松本の紹介記事を書いてもらう。
- ・映画に出演したキャストの人に松本のPRをしてもらう。
- ・自分たちがロコミで広める。

【松本山雅】

- ・松本の宣伝コーナーを作って、特産品を販売する。
- ・松本のご当地料理を売る。
- ・アウェイの試合にも特産品やご当地料理を持って行ってPRする。

【縄手通り】 カエルのイベントをやる。

【自然をつかったもの】

- ・雪を使って、雪合戦大会などのイベントをやる。
- ・水をPRするために、大きな蛇口のモニュメントをつくる。
大きな蛇口から水がでるようなものをつくる。
松本の水を売る。 水をつかったイベントをやる。

【観光宣伝の方法】

- ・観光センターを充実させる。
- ・有名人の銅像をつくる。
- ・空港やインターの近くに案内所をつくる。
- ・自分たちが観光地取材して子ども目線のパンフレットをつくる。
- ・飛行機やバスの車体に松本の宣伝を書く。
- ・「これが日本一」というものをつくる。
- ・特産品をつかってご当地料理をつくる。 などなど

3 市内見学等

話し合いのテーマの勉強のため、松本市の自然、文化、歴史、松本市の取り組みなどについて、市内の施設などを見学しました。

(1) 8月9日(日) 市内の博物館等を見学

見学した博物館など

旧開智学校、松本市立博物館、市内の湧水めぐり、はかり資料館
まつもと市民芸術館、時計博物館、馬場家住宅

(2) 8月10日(月) 環境保護についての研修

研修内容

環境政策課担当者から「まつもとの環境について」説明を受ける。

美ヶ原高原をパークボランティアの方の案内で散策、自然観察を行う。

環境業務課担当者から「松本市のごみ処理について」説明を受ける。

4 未来委員会のマーク

未来員会のマークについて、三つのグループに分かれて話し合いました。

みんなで話し合ったあと、グループごとに「どういう思いでこのマークを書いたか」発表しました。

いろんなマークのアイデアが出たので、何回も話し合って、一つに決めました。

【マークに込めた思い】

- ① 松本を大切にしたい(手の中に松本市)
- ② 笑顔でいっぱいになりたい
- ③ 松本の自然(山・太陽)を描きました

5 発表に向けての準備

第7回から第9回の委員会では、これまでに話し合ったテーマについて、まとめを行い、11月29日の松本子どもの権利の日市民フォーラムでの発表準備をしました。

6 松本子どもの権利の日市民フォーラム

まつもと子ども未来委員会で話し合ってきたまつもとのまちづくりについて、市長へ提言するとともに、活動内容を市民の皆さんへ発表する場として、松本子どもの権利の日市民フォーラムを開催しました。

(1) 趣 旨

松本市は、子どもの権利に関する条例で11月20日を「松本子どもの権利の日」と定めています。この機会に、市民の皆さんが子どもの権利の実現について学び、理解を深めるとともに地域の中で行動につなげていただくために、市民フォーラムを開催します。

今年は、平成27年1月に初めて設置した「まつもと子ども未来委員会」の1年間の活動の成果として、子どもたちが考えた松本のまちづくりについて市長へ提言するとともに、まちづくりのパートナーである子どもたちに、我々大人が今、何をすべきなのか考える講演会を行うものです。

(2) 主 催 松本市、松本市教育委員会

(3) 日 時 平成27年11月29日（日） 午後1時30分から4時まで

(4) 会 場 あがたの森文化会館 講堂

(5) 内 容

ア 第1部 まつもと子ども未来委員会の活動報告、提言

(ア) まつもと子ども未来委員会の紹介

(イ) まつもと子ども未来委員会で話し合った「まちづくり」について提言

まちを良くすることについて

自然のことについて

まちのPRのことについて

(ウ) 市長又は関係部職員から、提言に対してのコメント

(エ) 上記のコメントに対する子どもたちの意見など

(オ) 子ども交流事業の報告

宗像市・福津市との子ども交流事業に参加して

全国自治体シンポジウム2015 西東京における交流プログラムに参加して

イ 第2部 講演会

(ア) 演 題 「18歳選挙からみた主権者として今を生きる子ども」

(イ) 講 師 はやし だいすけ 林 大介 氏（東洋大学 社会学部 社会福祉学科 助教）

（講師紹介） 東洋大学社会学部社会福祉学科 助教 / 子どもの権利条約ネットワーク事務局長 他
法政大学法学部政治学科卒業、法政大学大学院社会科学研究科修士課程政治学専攻修了（政治学修士）

「子どもの権利」「子ども参加」「ユースエンパワーメント」「主権者教育・シティズンシップ教育」などをテーマにした講座、ワークショップの企画やコーディネート、ファシリテートなどに取り組む

東京出身、2児の父親

(ウ) 講演会の目的

選挙権年齢を18歳以上に引き下げた公職選挙法の改正により、来年6月19日以降に行われる選挙から、満年齢で18歳以上の方に選挙権が与えられることとなりました。

しかし、子どもは選挙権のあるなしに関わらず、18歳未満であっても今を生きる主権者ですので、子どもの時から一人の市民あるいは国民として尊重されなければなりません。子どもたちは自らを主権者として、住んでいるまちのこと、地域のこと、日本や国際社会のことを考えるとともに、大人たちはまちづくりのパートナーとして、子どもたちが活躍できる環境をつくることが大切です。

そのためには、子どもの権利に対する理解を市民の皆さんに深めていただき、これからの松本を担っていく子どもが、地域に関心を持ち、意見を表明し、活動に参加できる機会や仕組みづくりを私たち大人が作っていく必要があります。

子どもの権利が実現し、「意見表明及び参加」が促進され、子ども時代から、子どもが「自分たちも社会の一員である」という意識を持ち、そのもとで活動を積み重ねていくことが、有権者となったときに選挙権を有効に行使できるものと考えます。

松本らしい地域づくりを進めるうえでも、子ども参加は欠かせません。フォーラムに参加した皆さんが、地域の中で子どもの意見表明や参加の促進に向けた行動につなげていただくことを目的として、この講演会を開催します。

ウ 子ども発表の場（吹奏楽演奏）

1部と2部の間に松本美須ヶ丘高校の生徒の皆さんによる吹奏楽の演奏を行います。

(6) タイムスケジュール

13:30	13:35	14:20			14:45	16:00	16:00
開 会 市長 あいさつ	第1部 まつもと子ども未来委員会の活動報告と提言				発表の場 吹奏楽 演奏	第2部 講演会 「18歳選挙から見た主権者として 今を生きる子ども」 講演60分 質疑応答15分	閉 会
	まつもと子ども未来委員会の 活動紹介と提言 提言①まちを良くすること 提言②自然のこと 提言③まちのPRのこと	市からのコメント 市長又は担当部局	子ども 意見等	交流事業 報告 ①福岡 ②西東京			

(7) 参加費 無料

(8) 参加者 200人

V 他都市との子ども交流事業

今年度は、8月に宗像市・福津市の子ども交流事業、10月に地方自治と子ども施策全国自治体シンポジウムへ参加し、子ども交流を行いました。

1 宗像市・福津市との子ども交流事業

(1) 交流事業の趣旨

子どもの権利条例のあるまちとの交流事業として、松本市の子どもたちが、ともに世界文化遺産登録を目指している、福岡県宗像市及び福津市を訪問し、学校、年齢、地域を超えて異なる文化や自然に触れたり、海洋体験等を通して交流を行い、その土地の風土を学ぶものです。

(2) 参加者

ア 松本市内の小学校5、6年生 12名（まつもと子ども未来委員会委員）

イ 随員職員 2名（こども育成課職員2名）

ウ 宗像市、福津市の小学校5、6年生 各市10名

※ 本交流事業は平成26年度から実施しているもので、昨年度は、平成27年1月に松本市乗鞍高原で実施しました。より交流を深めるために、今回の参加者は、3市とも乗鞍の交流事業に参加した子どもたちです。

(3) 日 程

平成27年8月4日（火）～7日（金）

(4) 内 容

8月4日（火） 移動日、福岡市内見学

5日（水） 歓迎式、新原・奴山古墳群（福津市）・宗像大社他見学、海洋体験、交流事業

6日（木） 海洋体験、レセプション

7日（金） お別れ式、移動日

(5) 市長表敬訪問

ア 日 時 平成27年7月31日（金）午後3時30分～午後3時50分

イ 場 所 市長応接室

ウ 内 容 子どもたちから交流事業参加への思いを一言ずつ発表し、菅谷市長から子どもたちへ宗像市・福津市両市長への親書の寄託がされました。

(6) 事前・事後研修について

交流事業参加にあたって、事前研修と事後研修を行いました。

ア 第1回 平成27年6月21日（日） 午後1時～ 松本市文書館

イ 第2回 平成27年7月26日（日） 午後1時～ 窪田空穂記念館

ウ 第3回 平成27年8月22日（土） 午後1時～ 松本市美術館

日 付	時 間	内 容	
8 月 4 日 (火)	12:20 13:20 15:00 15:30 18:30 19:30	信州まつもと空港 集合 出発式 信州まつもと空港 出発 福岡空港 到着 市内見学 福岡ドーム、福岡タワー他 ホテル 「セントラルホテルフクオカ」 着 夕食	【8月5日 歓迎行事】 1 はじめのことば 2 福津市 小田 副市長あいさつ 3 宗像市 遠矢 教育長あいさつ 4 来賓紹介 (福津市 金子教育長) 5 松本市団長あいさつ 6 松本市団員代表あいさつ 7 親書奉呈 8 宗像市・福津市団員代表あいさつ 9 おみやげ交換 10 「信濃の国」披露 11 宗像・福津・松本スタッフの紹介 12 おわりのことば
8 月 5 日 (水)	7:00 8:20 9:30 10:00 11:30 12:00 12:30 15:00 15:30 17:30 17:50 19:00 19:30 20:30 22:00	朝食 ホテル 出発 福津市役所 歓迎行事 宮地嶽神社、新原・奴山古墳群見学 宗像大社見学 (記念写真撮影) 昼食 (海の道むなかた館) 海の道むなかた館見学、勾玉作り体験 玄海の家 (宿泊場所) 到着 地引網体験 夕べのつどい 夕食 玄海の家入所式 入浴 交流活動 就寝	【8月5日 玄海の家入所式】 1 はじめのことば 2 松本市団長あいさつ 3 松本市団員代表あいさつ 4 玄海の家の方のお話し 5 おわりのことば
8 月 6 日 (木)	6:30 7:20 7:40 8:30 10:00 12:00 13:00 15:30 17:00 18:00 21:00 22:00	起床 朝のつどい 朝食 出発の準備 玄海の家出発 うみんぐ大島 到着 釣体験 昼食 シーカヤック、磯観察 玄海の家着、入浴 玄海の家出発 国民宿舎ひびき レセプション 玄海の家着 就寝	【8月6日 レセプション】 1 はじめのことば 2 宗像市・福津市あいさつ 3 いただきます 4 食事 5 松本市「信濃の国」披露 6 宗像市・福津市の歌披露 7 感想などの発表 (全員) 8 おわりのことば 【8月7日 お別れ式】 1 はじめのことば 2 松本市団長あいさつ 3 松本市団員代表あいさつ 4 宗像市・福津市団長あいさつ 5 宗像市・福津市団員代表あいさつ 6 おわりのことば
8 月 7 日 (金)	6:30 7:20 7:40 8:30 9:00 10:20 11:20 12:50	起床 朝のつどい 朝食 お別れ式 玄海の家出発 福岡空港 到着 福岡空港 出発 信州まつもと空港着 解団式 解散	

2 地方自治と子ども施策 全国自治体シンポジウム

(1) 期 日

平成27年10月10日（土）～11日（日）

(2) 場 所

西東京市民会館（西東京市田無町四丁目15番11号）

(3) 主 催

「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2015実行委員会

(4) 内 容

日 時	内 容
10月10日（土） 11:30～13:00 13:00～13:30 13:30～18:00	江戸東京たてもの園見学（シンポジウム参加前の見学） オープニングセレモニー シンポジウム、特別講演
10月11日（日） 9:30～16:00	分科会「④子ども参加」に出席 午後は西東京市、石巻市の子どもと児童館で子ども交流へ参加

(5) 参加者

まつもと子ども未来委員会 委員2名（中学1年生、2年生） こども育成課 職員1名

(6) 分科会での発言

- ・ 最初は親に言われてまつもと子ども未来委員会に入ったが、楽しくなってきた。とてもいい委員会だと思うのもっと多くの人に知ってほしいと思う。
- ・ 土日部活がなく、何もしないのは良くないと思ってまつもと子ども未来委員会に入った。学校では経験できないこと、学区以外の友達ができただけよかった。
- ・ 文書館やまつもと市民芸術館などで会議を開催してもらい、普段見ることのできないところを案内などしてもらえて、松本にもこういうものがあるということがわかった。
- ・ いろんな地域の子供が委員会に参加している。大野川小学校は、五年生は一人だけだということを知った。自分の小学校は全校児童が約900人の学校だった。いろんな違いがあることを知ったが、そういう違いを含めて、同じ松本市の中で起きていることだと思うので話し合うときに違和感もない。
- ・ 参加していない子どもたちも、自分の通っている小中学校でまつもと子ども未来委員会のような活動ができればいいと思う。

(7) 参加者の感想（市民フォーラムでの発言）

- ・ 1日目の全体会は、長い時間座って聞いているのは大変だったが、色々な自治体の取り組みを知ることができたのがよかった。

- ・ 特別講演では、ヤン・ファン・ヒルスさん(ヨーロッパ子どもにやさしいまちネットワーク代表)から「ヨーロッパにおける子どもにやさしいまちの発展」の講演を聞いた。「子どもにやさしいまちはすべての人にやさしいまちだ」ということばが印象的だった。
- ・ 2 日目の分科会は「子ども参加」の分科会に参加した。石巻市、宝塚市、立川市の取り組みを聞いて、松本市の発表もした。午後は、西東京市、石巻市の子どもたちと交流会を行った。お互いの市のことについて、たくさん話すことが出来た。子ども・子育てのことについて、いろいろ学ぶことができた。学んだことをこれからのもつもとに活かしていきたい。
- ・ シンポジウムに出席する前に「江戸東京たてもの園」という博物館を見学した。会場までの移動にはタクシーを使ったが、運転手さんから、西東京市のいろんな話を聞くことができた。
- ・ 1 日目のシンポジウムで三重県名張市の市長さんが、松本市のことを発言された。松本市のことが全国の集会で取り上げられたことは嬉しかった。
- ・ 2 日目は、児童センターで西東京市、石巻市の子どもと交流した。ベーゴマやけん玉など日本のおもちゃの遊びをしたり、いろいろな話をした。長野県の「白文帳」を紹介したら、みんな驚いていた。他にも信濃の国を歌って、PRしてきた。
- ・ ぼくは、生れは富山で、今、松本に暮らしているが、故郷を大事にしたいという気持ちが強い。富山も松本も好きだが、松本を大事にしたい。

Ⅵ その他参加者の興味・関心のある事業

1 学都松本フォーラム

学都松本推進協議会から今年度の学都松本フォーラムの語り場（分科会）で「子ども分科会」を開催するにあたって、まつもと子ども未来委員会に企画・運営の相談がありました。

まつもと子ども未来委員会で委員の意見を聞いたところ、「ぜひ参加したい」ということになり、当日の分科会運営をすることとなりました。

話し合いのテーマは「地球温暖化と環境」として、3つのグループに分かれて話し合いをしました。

参加者は、子ども未来委員会の委員 17 人、大人参加者 11 人で合計 28 人でした。

話し合いの方法は、

- ① どんなことが問題になっているか
どんなふうになればいいか
- ② そのためにはどうしたらいいか
- ③ 自分たちができること
大人や行政にやってほしいこと

を話し合い、模造紙に整理して、各グループから報告しました。



グループごとの話し合いの内容

1 班

どんなことが問題 どうなればいい	そのためには何が必要か	子どもができること
		大人にやってもらいたいこと
		行政にやってもらいたいこと
・電気の無駄遣い ・ゴミが多い ・気候変動 ・森林伐採がある ・大気汚染がある ・車の排気ガスが多い ・農作物に異変がある	・節電をする ・水を大切に使う ・ゴミは分別する ・車をなるべく使わない ・温暖化が進んだ時の勉強をする ・便利な暮らしを見直す ・電気の使用制限をする ・3 Rを心がける ・ゴミ袋の数を制限する ・環境について考える人を増やす ・森林伐採をしない	・ゴミを減らす（ゴミ箱に捨てる、持ち帰る） ・3 Rを実践する ・節電、節水をする
		・環境について考える時間を増やす ・短距離の移動に車を使わない ・携帯やスマホ利用を控え節電する
		・ゴミ箱を増やして設置する ・自然を残すようにする ・電気の使用を制限する ・温暖化が進むとどうなるのか模型などを作って説明する

2 班

どんなことが問題 どうなればいい	そのためには何が必要か	子どもができること
		大人にやってもらいたいこと
		行政にやってもらいたいこと
・工場を減らしていく ・オゾン層を守る ・火力発電をやめる ・森林伐採をやめる ・酸性雨が降る ・北極の氷が溶ける ・牛のメタンガス ・自然災害が多い ・原子力発電が問題 ・ゴミの分別 ・人口が多い ・海面が上昇している ・公害が多い ・CO₂を減らす ・異常気象	・発電は風力、水力、太陽光を活用する ・自家発電を活用する ・木を多く植える ・シャープペンシルを使う ・ゴミの分別をしっかりとる ・黒板、チョークを使わない ・「もったいない」精神を増やす ・服を多く買わない ・ポイ捨てをしない	・「もったいない」精神をもつ ・木を植える ・服を少なくする ・ゴミは分別する ・ポイ捨てをしない
		・「もったいない」精神をもつ ・木を植える ・服を少なくする ・ゴミは分別する ・ポイ捨てをしない ・自家発電を活用する
		・黒板からホワイトボード ・工場を減らしていく ・太陽光、風力、水力発電を活用 ・日本の技術を他国へ伝える ・「もったいない」精神を広める ・リサイクル施設をつくる

3 班

どんなことが問題 どうなればいい	そのためには何が必要か	子どもができること
		大人にやってもらいたいこと
		行政にやってもらいたいこと
・ 極端な気象変動 (海面上昇、ゲリラ豪雨、豪雪、真夏日が続くなど) ・ 自然災害の多発 ・ 生態系の変化 (南の地方の生物が北上、山の動物が里にくる、気温の変化で植物にも異変がある)	・ リサイクルを活用してゴミを減らす ・ 近くの移動は車を使わない ・ 環境保護の勉強をする ・ チョークを使わない ・ 木をたくさん植える ・ 食べ物を大切に作る ・ 冷房をなるべく使わない ・ 打ち水をする ・ 早寝早起きしてなるべく電気を使わない	・ 寒い時は運動する ・ 暑い時はうちわを使う ・ 無駄なものを買わない ・ 紙を大事にする ・ 着るものを大事にする ・ 打ち水をする ・ 早寝早起き
		・ ゴミを増やさないようにリサイクルする ・ 電気の無駄使いを減らす ・ 打ち水をする ・ なるべく車を使わない ・ 早寝早起き
		・ KidsIS014001 を学校で取り入れる ・ 熱中症を防ぐために外に水飲み場をつくる ・ 木をたくさん植える

大人の参加者の感想

- ・ 自分が子どもの頃は気温が 30 度を超える日もなかったが、今は違う。温暖化が進んでいるので、昔を思い出して自然を増やしていくことなどが大切だと感じた。
- ・ 子どもたちが真剣に考えていることがすごい。使えなくなった食器をリユース、リサイクルしている団体もある。一人一人ができることをやっていくことが大事。
- ・ 熊や鹿が里に来て被害を受けることが増えている。山に自然を取り戻していくことが必要。みんながいろいろ考えていることが分かった。
- ・ 自分も普段は自動車で移動しているので、考えてみようと思った。みんなから難しい言葉が出て、こんなに真剣に考えていると分かって頼もしく感じた。
- ・ みんなが役割を持って勉強して参加していた。環境や温暖化、いろんな変化があるが、一番変わったのは人間だ。ミヒャエルエンデの話で、「水を汲みに行くのに 30 分、帰りに 1 時間かかるところに住んでいた人が、「水場の近くに引っ越せばいいのに」と言われたとき、「便利さと引き換えに失うものがあるから、ここに暮らす。」というものがある。今の人間は便利さと引き換えに多くの物を失っているのではないか。
- ・ 環境の問題は大きいが自分でできることをやる、続けることが大事だと思う。通勤に自動車を使わないようにしているが、今日も雨の中片道 10 キロを来た。

まつもと子ども未来委員の感想

- ・環境のことをみんなで話し合っ、とても勉強になった。
- ・自転車は環境にいいものだ、と改めて感じた。自分もそうしていきたい。
- ・普段は子どもだけで話し合いをしていたが、大人の意見を聞けてよかった。
- ・昔の話などをしてきて昔の生活を知った。
- ・できることをやっていくことが大事だと思った。

まつもと子ども未来委員会代表のまとめのこたば

子ども参加で自分たちにできることを考えてみた。3班に分かれていろんな意見を出してもらった。どの班もできることをやっていこうというところ、例えばCO₂を減らしていこうなど、一致していたと思う。やるべきことは困難なことが多いかもしれないが、この場にいる人だけでなく、多くの人と問題を共有していきたい。自分たちだけでなく周りの人を巻き込んで、この問題を考えていきたいと思った。

2 チャオ！バンビーニ

チャオ！バンビーニ

「子どもたちが劇場と出会う日、子どもたちに劇場を開放する日」

～未来を生きる子どもたちが初めて劇場を訪れる、そして日常の中に、劇場があることが当たり前になる、そのような出合いの場を築くことを目的とする～

今年の「チャオ！バンビーニ」は「子どもたちによる、子どもたちのための1日」をイメージして、大人が用意したイベントだけでなく、子どもたちのやってみたいこと（装飾や企画、出し物）ができるようにしたいという主催者の思いがあり、まつもと子ども未来委員会へ参画の相談がありました。

主催者からの提案を受け、まつもと子ども未来委員会で委員の意見を聞いたところ、「やってみよう」という意見が多く、委員会とは別に集まり、準備をしていくこととなりました。

- (1) 日 時 平成27年11月23日（月・祝） 10:00～15:00
- (2) 場 所 まつもと市民芸術館
- (3) 事前打ち合わせ

回	日 時	場 所	内 容
1	9月13日（日） 14:00～15:00	まつもと市民芸術館 スタジオ3	どんなことをやるか相談
2	10月18日（日） 14:30～15:30	Mウイング 3-1会議室	どんなことをやるか相談
3	11月1日（日） 10:00～11:30	まつもと市民芸術館 スタジオ4	キャラクターについて話し合い
4	11月8日（日） 10:00～13:30	まつもと市民芸術館 スタジオ2	ワークショップ、衣装合わせ
5	11月22日（日） 10:00～13:00	まつもと市民芸術館 エントランス	前日リハーサル

(4) 内 容

☆「指名手配犯スタンプラリー」

指名手配書を配って、チャオバンビーニに来た子どもたちに、犯人をさがしてもらいます。

犯人役は二人で一組になって、会場内のどこかにかくれます。

犯人役の人を見つけたら、参加者は「合言葉」を犯人役の人にいいます。

合言葉を言われたら、スタンプを押して、別の犯人のヒントをあげます。

3組の犯人を見つけて、スタンプが集まったら、ギャングの親玉をさがします。

親玉が見つかったら、スタンプラリーが終わり、記念品（ステッカー）がもらえます。

☆「報道カメラマン、レポーター」

段ボールで作ったカメラにスマートフォンを入れて、会場内でインタビューやレポートをして、会場内にある二つのテレビで中継しました。

☆ 一日館長

まつもと子ども未来委員がまつもと芸術館の「一日館長」をしました。

(5) 参加者の感想

- ・ 犯人役をやった。たくさんの人が来てくれた。最後にみんなで踊ったことも楽しかった
- ・ 変装したことが楽しかった。友達もきてくれ、会えたのでよかった。
- ・ いろんな人と会えて楽しかった。
- ・ 芸術館の裏の仕事を見ることができた。みんな大変な仕事をしているんだと思った。
- ・ たくさんの人が来てくれて楽しかった。
- ・ レポーター役をやったが、難しかった。自分には向いていないかも知れないと思った。
- ・ 小さい子どもたちにウケたので楽しかった。
- ・ 来てくれた人たちに楽しんでもらえた。
- ・ 1日館長をやったが、楽しかった。
- ・ ギャングの親分をやって楽しかった。
- ・ 来年もまたやりたい。



Ⅶ 平成27年 まつもと子ども未来委員会 アンケート結果

新年度のまつもと子ども未来委員会の活動を計画、検討するにあたり、27年度に参加いただいた皆さん、保護者の皆様からのご意見などをいただくため、アンケートを行いました。

- ◆ 実施時期 平成27年12月
- ◆ 対象者 まつもと子ども未来委員とその保護者 38名

◆ 調査項目

【未来委員用】

- 1 未来委員会は楽しかったですか？
(楽しかったと回答した方へ)
どんなことが楽しかったですか？
(どちらでもない、楽しくなかったと回答した方へ)
それはどうして？
- 2 未来委員会で、思い出に残っていることはありますか？
- 3 未来委員会で「こういうこともやってみたかった」というものはありますか？
- 4 未来委員会に参加したきっかけは、なんですか？
- 5 来年も未来委員会に参加したいですか？

【保護者用】

- 1 委員会の日程について
- 2 開催場所について
- 3 活動内容について
- 4 未来委員会を開催するうえで配慮してほしいこと
- 5 その他

◆ 回答数

未来委員 19人回答
保護者 20人回答

未来委員会は楽しかったですか？

- とても楽しかった 10人
- まあまあ楽しかった 8人
- どちらでもない 0人
- あまり楽しくなかった 0人
- ぜんぜん楽しくなかった 1人

楽しかったと答えてくれた人 どんなことが、楽しかったですか（複数回答あり）

- 他の学校の人と仲良くなれたこと 17人
- 年の違う人と仲良くなれたこと 7人
- いろんな施設を見学できたこと 8人
- 交流事業に参加できたこと 8人
- 自分が思っていることをはなせたこと 8人

（それはどんなこと？）

自然のことやゴミの問題のこと。

花いっぱい運動について思っていることが話せた。

いままであまり発言できなかったけど、ここではできた。

自分が思っていることを発表できて嬉しかった。

話せなかった。（意見を言わせてくれない。）

- やってみたいことができたこと 5人

（それはどんなこと？）

松本を有名にしたいこと。

いろんなところを見学できたこと。

雪の多い長野県だから、雪のイベントをやりたいと思った。

子ども交流に参加できたこと。このおかげで、私の中の世界が広がりました。

マークづくり

まあまあできた。自然をまもること。

- その他 5人

（それはどんなこと？）

いろんな行事にすすんで参加することができたこと。

チャオバンビーニは面倒だと思ったけど、当日すごく面白かった。参加してよかった。

他の学校の人の話が聞けたこと。

いままでやったことのないことができた。（チャオバンビーニ）

楽しくなかったと答えてくれた人 それはどうして？ （自由記述）

あまり参加できなかったから。

未来委員会で思い出に残っていることは、ありますか (自由記述)

- ・ 福岡との交流事業。
- ・ 楽しくテーマについて話し合えたこと。
- ・ 交流事業で福岡の友達ができたこと。
- ・ 市民フォーラムの司会が上手くできたこと。
- ・ バスで行った施設見学と環境保護研修会
- ・ みんなとの話し合い。
- ・ 友達とチャオバンビーニに出られたこと。
- ・ 福岡でシーカヤックをしたこと。
- ・ いろいろな施設へ行って見学などしたこと。
- ・ 東京のシンポジウムに参加したこと。
- ・ 美ヶ原の散策
- ・ 全部、思い出に残っている。
- ・ 今年の自由研究は交流事業のまとめをしました。すごいところに行ったんだなあーと思いました。九州の暑さを体験できて地理が楽しくなった。松本っていいなと思った。冬の交流も雪合戦やかまくら、おもちをついたり、一日中楽しかった。
- ・ 市民フォーラムでみんなで話し合ってきたことを発表したこと。
- ・ 学都フォーラムに参加して、自分の意見を言えたこと。

未来委員会で「こういうこともやってみたかった」というものは、ありますか (自由記述)

- ・ 話し合ったことを行動に移していないから、しっかり言ったことを実行したかった。
(ボランティアをすること。)
- ・ 松本のことについて、もっと調べてみたかった。
- ・ 自分たちで考えた企画を実行してイベントをやりたいかった。(チャオバンビーニ以外に)
- ・ 他のテーマについても話し合いをしたかった。
- ・ 松本の公園で遊びたかった。
- ・ 同年代の人ともっと話し合いたかった。

未来委員会に参加したきっかけは、なんですか

- たのしそうだったから 7人
- お家の人にすすめられたから 8人
- 友だちからさそわれたから 3人
- なんとなくやってみたかったから 2人
- その他 1人 (交流事業に出て楽しかったから。)

来年も未来委員会に参加したいですか

- 参加したい 11人
- 参加したくない 1人
- わからない 5人
- その他 2人 (受験があるので参加できないかもしれない。)

その他 (欄外に自由記述あったもの)

いろいろな場所にいきたいなと思った。行ってみることで、その物や場所がすごく分かりやすくなった。子どもの権利はよくわからないけれど、大人だけに任せているだけじゃなくてぼくたちなりにいろいろやって大きくなっていくことが大事かもしれないと思った。

委員会の日程について

- 開催の曜日 土曜日がいい 4人 日曜日がいい 5人 どちらでもいい 1人
- 開催の時間 午前がいい 3人 午後がいい 2人 どちらでもいい 2人
- 固定したほうがいい 7人
- いつでもいい 2人
- その他の意見
 - ・ 午後の開催だと、終日委員会の予定に拘束されてしまうので午前がいい。
 - ・ 一応固定で決めておいて、変更の時のみ、連絡すればよいのではないか。
 - ・ 先の予定が最初にはっきり分かるとよかった。
 - ・ 習い事が土曜日に重なっていたので欠席することがあった。
 - ・ 全員の予定を合わせるのは大変なことだと思う。

開催場所について

- 毎回同じところがよかった。 2人
- いろいろな施設で開催したのが、よかった 10人
- いろいろな施設で開催したので、不便だった 3人
- 開催場所で、特に不便はなかった。 5人
- その他の意見
 - ・ 様々な施設を見学できたので参考になった。
 - ・ 親としては同じ場所での開催の方が、送迎が楽でいい。子どもにとっては、色々な施設を見学できてよかったそうです。送迎する側としては、駐車場の広いところがいい。
 - ・ 普段行かない場所に行くことができ、大変良い機会になった。親も発見があった。
 - ・ 子どもが一人で行き返りできる場所をお願いしたい。
 - ・ 子どもにとってはよかったが、送迎は大変だった。
 - ・ 子どもにとっては松本市に住んでいてもなかなか入る機会のない施設に入れたことはよかったが、送迎する側からすると、毎回場所を調べるのに少々大変だった。

活動内容について（自由記述）

- ・ 興味を持って取り組んでいたようでよかった。（ただ、家ではあまり話をしないので、把握できてなかったところもあります。）
- ・ 有意義だったと思う。
- ・ 福岡での交流はとてもいい経験になった。子ども同士の交流の場（学校、学年、市や県の違い）を持てたことはとても良い刺激であったと思う。
- ・ 他の学校の子どもたち、中学、高校の子と触れ合うことは良い経験になると思う。
- ・ いろいろなことをさせていただいて、よかった。
- ・ 自主性を尊重していただいたのもためになりました。
- ・ 松本市についてたくさん考え、学ぶことができたと感じました。特に委員会でたくさんの文化施

設に行かせていただいたことは、本人もとても楽しかったようです。

- ・ 様々なことを話し合ったり体験して、貴重な良い経験になったと思います。
- ・ 学区外のお友達と話す機会があり、視野が広がったように思う。
- ・ 発言、考えることの大切さ、自分の住んでいるところを知るきっかけになった。
- ・ 人前で話すことに少し慣れた（？）
- ・ いろいろな体験をさせていただき、とてもありがたく思っています。
- ・ 子どもたちが意見を出し合い、お互いに考えをまとめて形にしていける機会としては良かったと思います。（ロゴマークを決めたり、活動内容を決めるなど）
- ・ 県外の都市との交流も、今の子どもたちにとって、この時しかできない経験、体験、そして友人関係を気づけたことなど貴重な体験となりました。
- ・ チャオバンビーニは楽しかったようですが、時間場所に都合をつけるのが大変でした。
- ・ いろいろな学年、学校のお子さんたちと交流できて楽しかったようです。
- ・ 松本市の施設に連れて行っていただき、学校ではできない体験ができ、勉強になりました。中でも市長表敬訪問が印象に残っているようで、今でも時々話しています。
- ・ 少人数の学校にいるので他校のお子さんと交流できて楽しかったようです。
- ・ 市民フォーラムには参加できませんでしたが、準備等で参加できて意義のある時間が過ごせたようです。
- ・ チャオバンビーニは参加できてとてもよかったです。
- ・ 大人の固定した考えをいい意味で裏切ってくれる思考を養えたと思います。
- ・ 前半は、子どもの話を聞く限りなかなか前に進まない印象が強かったのですが、先日のフォーラムに参加させていただき、ある程度形になったものを拝見し、一年間の成長を感じました。
- ・ 来年は具体的な活動ができるといいと思いました。（テーマごとにグループに分かれるのも良いと思いました。）
- ・ 野球の試合と重なってしまい、あまり参加できなかったのですが、意識の高い子と触れ合うことができ、大いに刺激となったようです。

配慮してほしいこと（自由記述）

- ・ 丁寧に対応いただき、安心して子どもを預けられました。
- ・ 特にありません。
- ・ 日程が直前でないと分からなかったこと、お稽古や学校行事との調整も難しくなかなか参加できない方も多かったことと思います。
- ・ 飲み物を提供していただける場合、緑茶でなく麦茶又は水をお願いします。
- ・ 1年間たくさんの行事がありましたが、子どもたちをまとめていただきありがとうございました。
- ・ 開催場所を決めて欲しかった。（地元でない人は分かりにくい。）
- ・ 運動会などの絶対に休めない行事と重ならないようにしてもらえるとありがたい。その日にあった委員会での集合写真が使われ、子どもが悲しんでいた。
- ・ 事前の説明での年間の回数より、増えたので、その時点で開催時間や場所の相談があるとよかった。
- ・ 年代と会議時間

その他 どんなことでも（自由記述）

- ・ 自治体シンポジウムは非常に楽しい経験になったようです。
- ・ 当初、松本の未来のことを話し合うのではなく、今の子どもたちが未来の子どもたちのために、今困っていることや感じていることを話し合い、学校など子どもたちを取り巻く環境を良くしていこうという取り組みだと思っていました。来年はぜひ、そんな話し合いもしていただければいいと思う。
- ・ 多くの人と知り合う、出会うことで自分に気づくことがたくさんあるので、本人の視野が広がったと思う。このような企画があればまた参加させたい。
- ・ フォーラムで市長さんはじめ、職員の皆様「大人」が子どもの意見に正面から向き合ってくくださる姿にとっても感動しました。自分たちの意見を対等に聞いてもらえた経験は参加した子どもにとって大きな自信になると思います。
- ・ テーマの中から一つを取り上げ、深く掘り下げてみるのもよいのではないかと思った。
- ・ 委員会の日程が直前まで分からないというのが一番大変でした。年間行事等、こちらから提供できるものがあれば協力し合い、できるだけ多くの委員が集まれる日程を組んでいただければと思います。
- ・ 年6回であがたの森であれば参加できると思ったが、月1回で場所も毎回変わり、正直大変だった。「休んでもいい」といってもまじめな子なので欠席・遅刻したくなく、他の習い事などもあったが、家族の協力で何とかできた。様々な施設を見ることは体験としてよいので、最初から知らせていただきたかった。
- ・ いろいろなことを経験させていただく機会となった。ボランティア活動なども良い経験になるので機会があればお願いします。
- ・ 子どもの発表の場では、もう少し子ども自身に内容を決めさせるチャンスがあってもよいと思います。大人の意向もあるとは思いますが、お膳立てを全部しなくても、子ども自身もっと考え、責任を持たせることも大切かと思います。
- ・ とにかく送迎が大変でした。
- ・ 活動に参加して1年間、考えたり議論したり発表したりと貴重な体験をさせてもらいました。機会があればまた参加させてください。
- ・ 土曜の午後は、土日の真ん中になるため、他の予定が入れにくくなります。